

令和7年度香川県周産期医療協議会 次第

日時：令和8年3月4日（水）19:00～20:30
場所：県庁12階大会議室（オンライン併用）

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 周産期医療提供体制について

- ①周産期医療の現状と課題（周産期医療の稼働実績）
- ②周産期医療体制整備事業
- ③小豆島におけるセミオープンシステム

(2) 新生児マススクリーニング検査について

- ①新生児マススクリーニング検査及び実証事業について
- ②拡大新生児スクリーニング検査について

(3) 新生児聴覚検査体制について

- ①新生児聴覚スクリーニング検査について
- ②新生児聴覚検査機器購入補助事業
- ③新生児聴覚スクリーニング検査マニュアル改訂案

(4) 妊産婦メンタルヘルス等について

- ①産婦健康診査事業
- ②産後ケア事業
- ③多胎妊産婦等支援
- ④妊産婦メンタルヘルスの現状と課題

(5) その他

- ①妊婦向けRSウイルス母子免疫ワクチン・HPVワクチンについて
- ②プレコンセプションケアについて
- ③リトルベビーハンドブック改訂について
- ④小児周産期リエゾン活動マニュアルについて
- ⑤久保井委員からの提出議題

4 閉会

香川県周産期医療協議会委員等名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

氏名	所属・役職名	備考
市原 朋子	高松赤十字病院第一小児科部長	現 地 参 加
伊藤 滋	香川県立中央病院小児科部長	オ ン ラ イ ン
金西 賢治	香川大学医学部附属病院周産期学婦人科学教授	現 地 参 加
川本 雅教	香川県医師会常任理事	現 地 参 加
日下 隆	香川大学医学部附属病院小児科学教授	現 地 参 加
久保井 徹	四国こどもとおとなの医療センター新生児内科医長	現 地 参 加
後藤 真樹	高松赤十字病院第一産婦人科	現 地 参 加
佐々木三千代	香川県助産師会会長	現 地 参 加
高田 雅代	香川県立中央病院産婦人科部長	現 地 参 加
多田 武玄	高松市消防局長	欠 席
富山 清江	香川県看護協会会長	現 地 参 加
前田 和寿	四国こどもとおとなの医療センター院長	現 地 参 加
宮崎 雅仁	香川県医師会常任理事 香川県小児科医会会長	オ ン ラ イ ン
三好 達也	香川県保健所長会	オ ン ラ イ ン
米澤 優	香川県産婦人科医会会長	現 地 参 加

事業説明・オブザーバー

氏名	所属・役職名	備考
岩瀬 孝志	香川大学医学部附属病院小児科	現 地 参 加
佐藤 仁	香川県医師会常任理事	現 地 参 加

(敬称略、五十音順)

香川県周産期医療協議会設置要綱

(設置の目的)

第1条 妊娠、出産から新生児に至るまでの一貫した高度専門的な医療を効果的に提供し、安心して子どもを産み育てる環境づくりの推進を図り、周産期医療体制を確立するために、香川県周産期医療協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について検討及び協議を行うものとする。

- (1) 香川県における周産期医療体制（総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、搬送体制等）の整備に関すること。
- (2) 周産期医療情報システムに関すること。
- (3) 周産期医療関係者の研修に関すること。
- (4) 周産期医療体制整備についての調査に関すること。
- (5) その他周産期医療体制の整備に関して必要と認める事項に関すること。

(委員)

第3条 協議会は、委員16名以内で組織する。

- 2 委員は、周産期医療関係者、関係団体の代表者、関係行政機関の代表者等で構成し、知事が委嘱又は任命する。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任を妨げない。

(会長)

第4条 協議会に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 会長は、協議会を主宰し、議事を整理する。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第6条 協議会の所掌事務を補佐するために、周産期医療協議会ワーキンググループを置くことができる。

- 2 周産期医療協議会ワーキンググループの構成及び運営に関する事項は、別に定めるところによる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、健康福祉部子ども政策推進局子ども家庭課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定めるところによる。

附 則

この要綱は、平成14年4月17日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

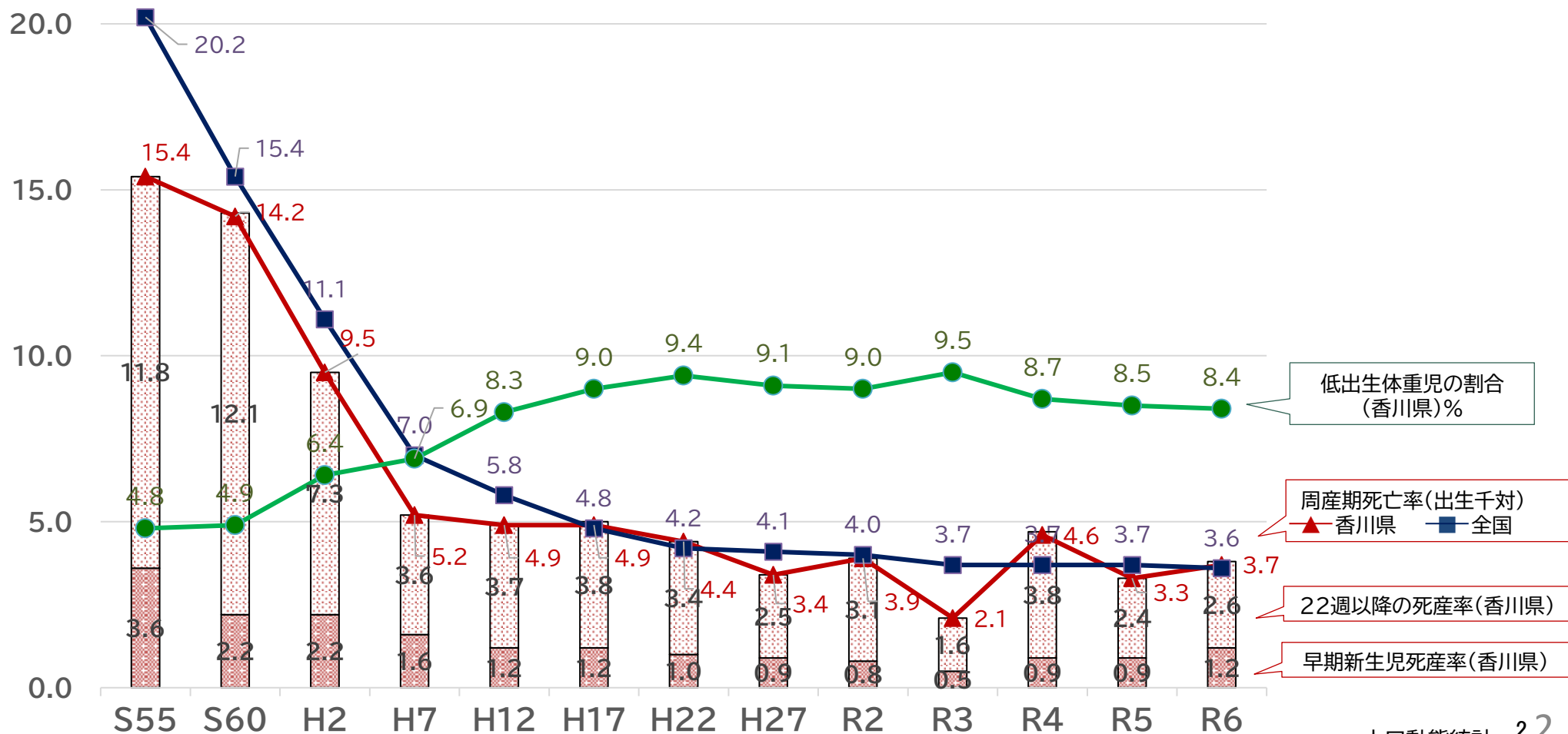
この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

周産期医療提供体制について

- ①周産期医療の現状と課題
(周産期医療の稼働実績)
- ②周産期医療体制整備事業
- ③小豆島セミオープンシステム

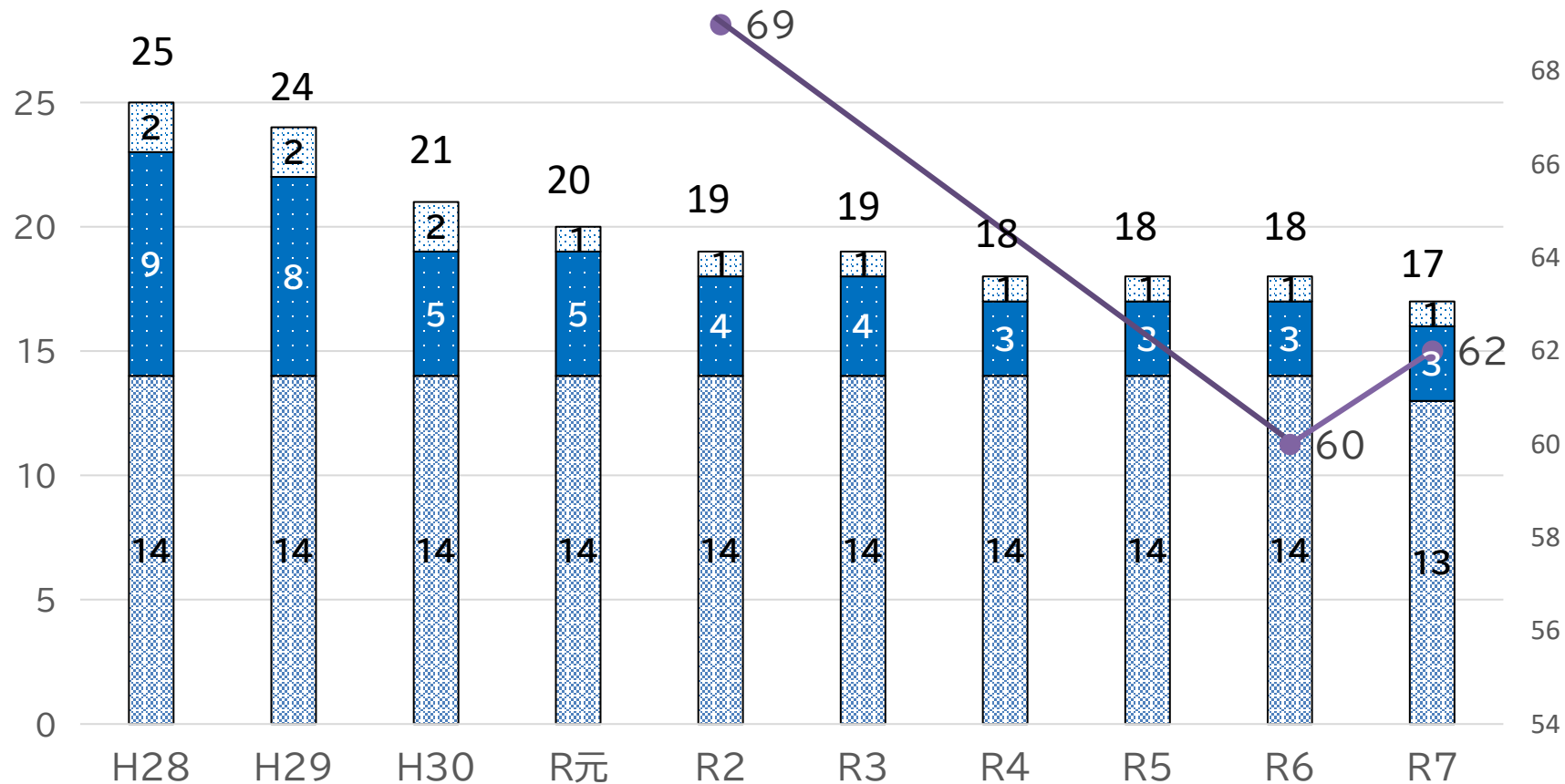
新生児死亡率、周産期死亡率、出生のうち低出生体重児の構成比

- 周産期医療の状況を示す主な指標である**新生児死亡率**や**周産期死亡率**は、全国と同様に本県も**減少**しており、**全国平均値と比べても良好な状態**にある。
- 一方、**低出生体重児(2,500g未満)**の割合は、近年**8.5%前後**で推移しているとともに、**出産年齢の高齢化**や**不妊治療**等による**リスクの高い妊娠**や**出産の割合は増えており**、**周産期医療の重要性はますます高まっている**。



分娩取扱い施設数と分娩取扱い医師数の推移

- 分娩取扱い施設は10年前の25施設から8施設減少(約3割減:病院▲1、診療所▲6、助産所▲1) 年々減少しており、特に診療所の減少が大きい。
- また、同様に分娩を取り扱う医師や助産師数も減少している。



病院
 診療所
 助産所
 分娩取扱い医師数

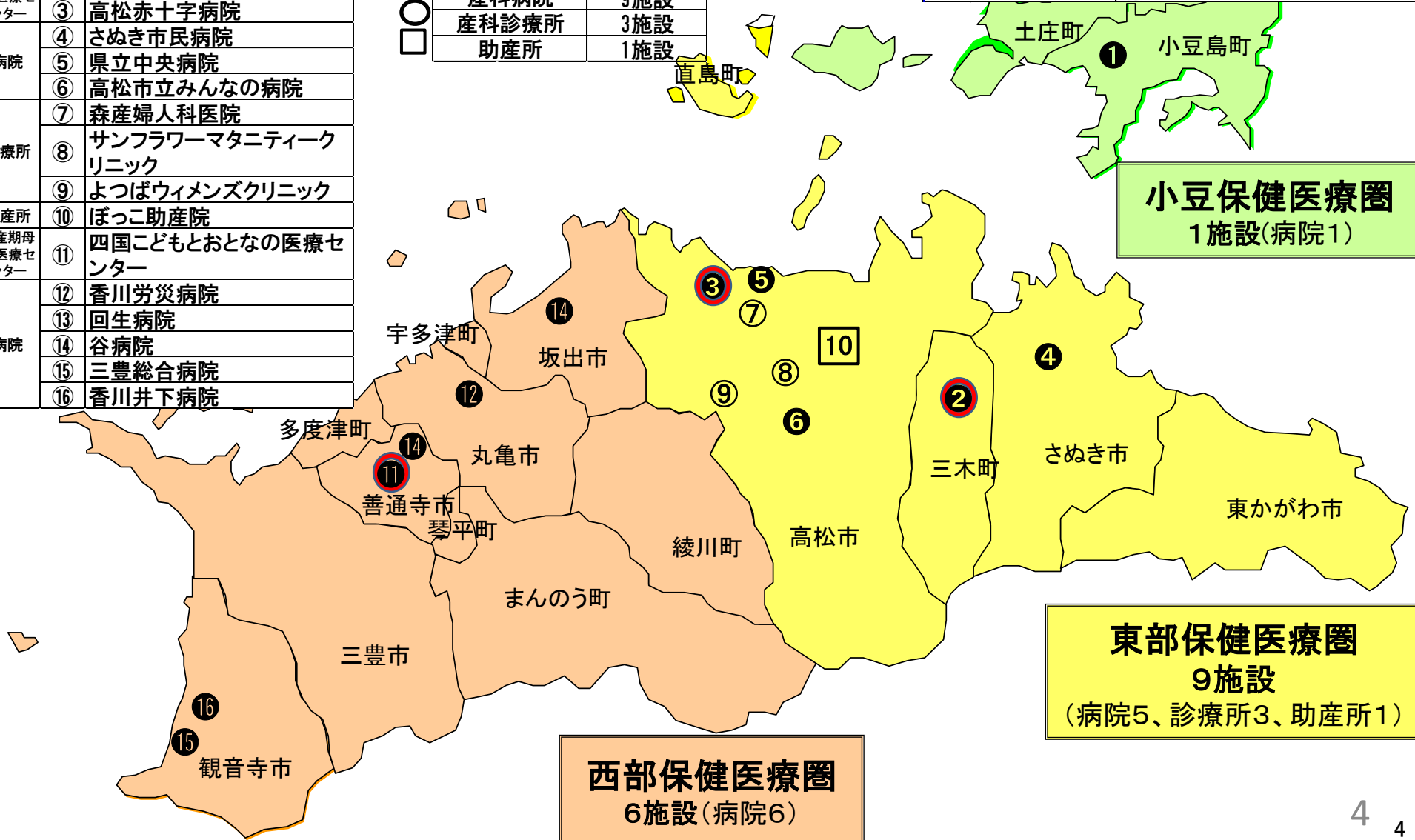
香川県内 分娩取扱い施設の分布 (R7.10.1~)

県内分娩施設 16施設

二次保健医療圏	種別	医療機関名
小豆	病院	① 小豆島中央病院
	周産期母子医療センター	② 香川大学医学部附属病院
東部	病院	③ 高松赤十字病院
	病院	④ さぬき市民病院
	病院	⑤ 県立中央病院
	病院	⑥ 高松市立みんなの病院
	病院	⑦ 森産婦人科医院
	診療所	⑧ サンフラワーマタニティークリニック
	診療所	⑨ よつばウィメンズクリニック
	助産所	⑩ ぼっこ助産院
	周産期母子医療センター	⑪ 四国こどもとおとなの医療センター
	周産期母子医療センター	⑫ 香川労災病院
西部	病院	⑬ 回生病院
	病院	⑭ 谷病院
	病院	⑮ 三豊総合病院
	病院	⑯ 香川井下病院

施設種別	施設数
周産期母子医療センター	3施設
産科病院	9施設
産科診療所	3施設
助産所	1施設

医療機関名	分娩取扱いの状況
屋島総合病院	R7.1~分娩取扱休止
小豆島中央病院	R6.4~セミオープンシステム運用
さぬき市民病院	R3.1~セミオープンシステムと院内助産システム、R7.4~医師主導型分娩へ
厚仁病院	R7.10.1~分娩取扱中止



小豆保健医療圏
1施設(病院1)

東部保健医療圏
9施設
(病院5、診療所3、助産所1)

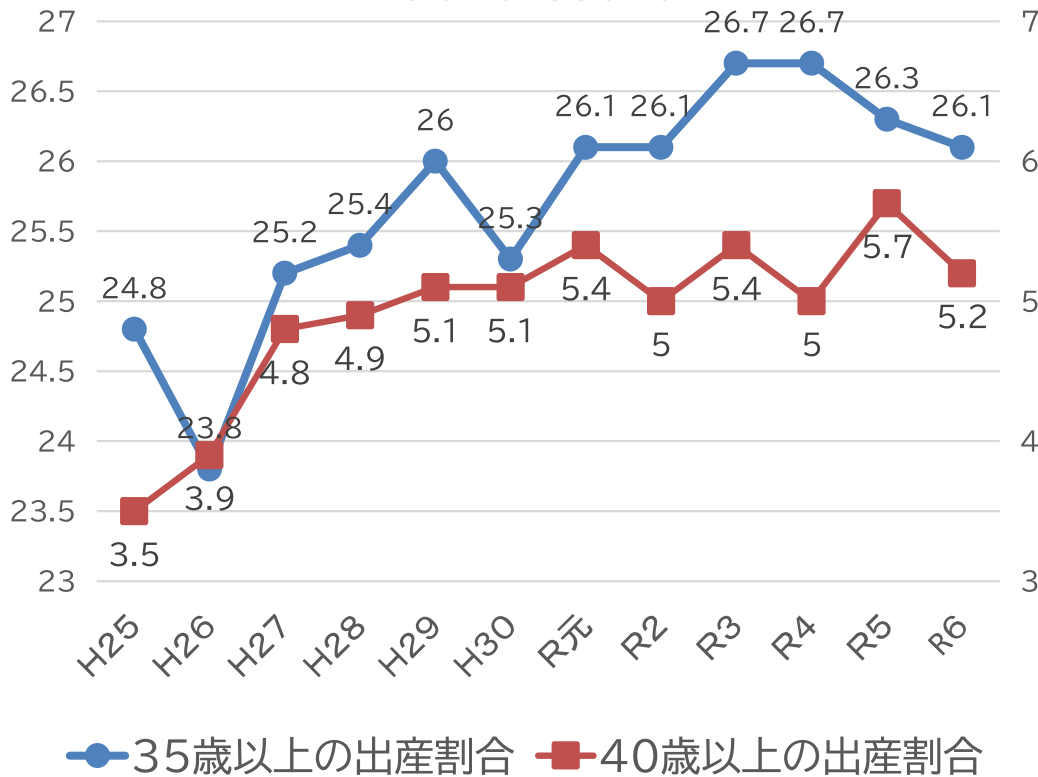
西部保健医療圏
6施設(病院6)

周産期母子医療センターの状況①

(詳細は周産期医療の稼働実績参照)

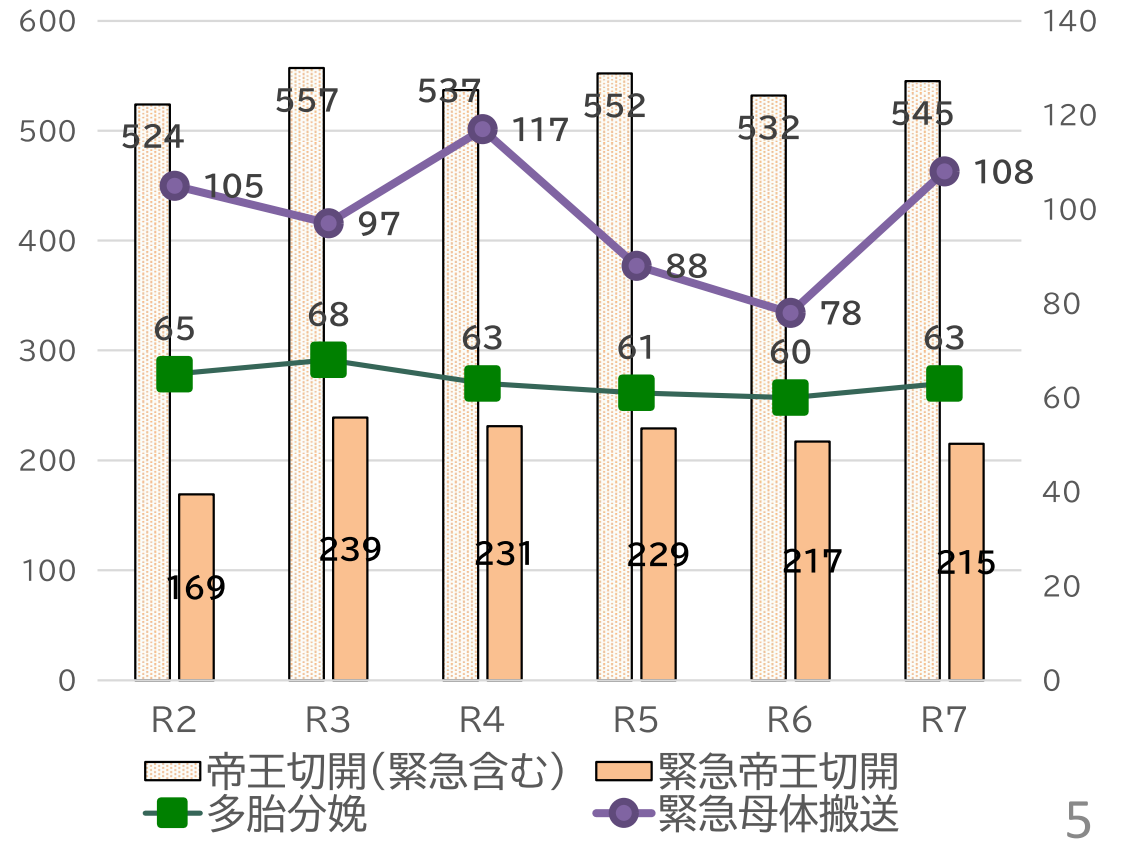
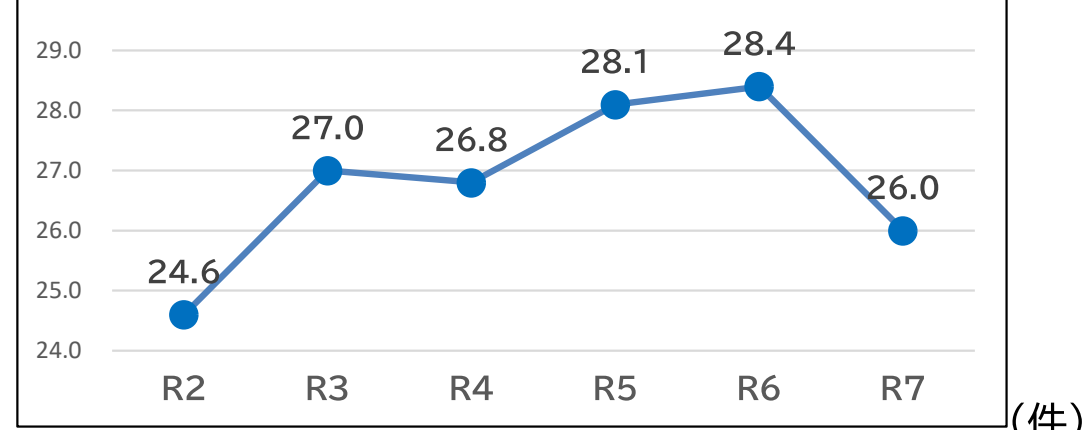
- ・出産年齢は高年齢化し、35歳以上は26.1%(R6)と年々増加。
- ・周産期母子医療センターでの分娩数合計は約2000件で推移。そのうちの27.1%(R6)はハイリスク妊婦等による帝王切開で年々増加。帝王切開の約半数が緊急帝王切開で、救急母体搬送も年間100件程度と周産期母子医療センターの需要が高い。

県内の出産年齢が35歳以上、40歳以上の出産割合(%)



データ: 香川県子ども家庭課調べ(周産期母子医療センター稼働状況)

周産期母子医療センターで分娩のうち帝王切開(緊急含む)の割合(%)

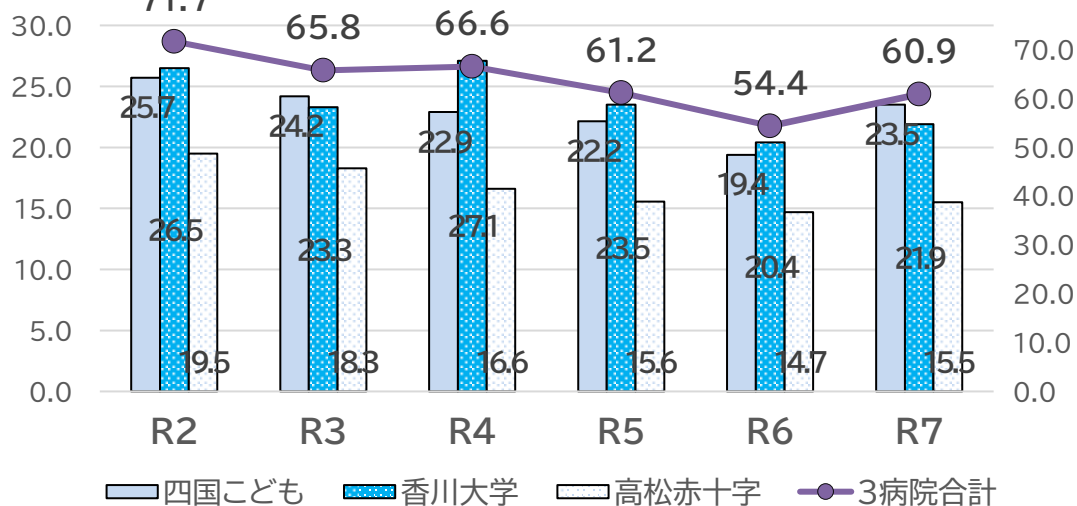


周産期母子医療センターの状況②

(詳細は周産期医療の稼働実績参照)

産科病棟入院状況(MFICU含む)

1日平均患者数(人)と3病院の合計平均患者数(人)



<総合周産期母子医療センター>

○四国こどもとおとなの医療センター

NICU 15床 (運営12床) MFICU 9床

○香川大学医学部附属病院

NICU 9床 MFICU 6床

<地域周産期母子医療センター>

○高松赤十字病院 NICU 3床

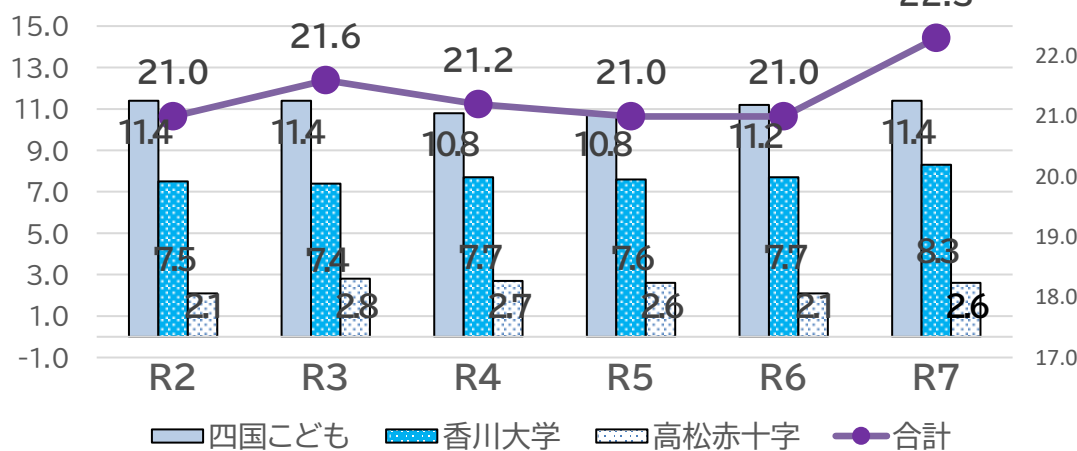
【NICUの充足数】 *厚生労働省の周産期医療体制整備指針

NICUの整備: 出生1万人に対して25~30床を目標

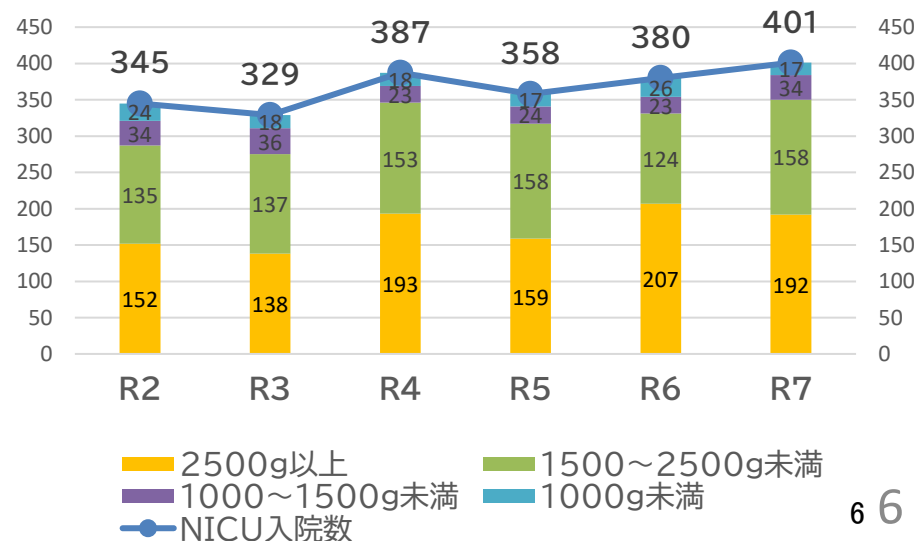
→本県の場合20~24床が目標数 ⇒ 現在24床で運用

ハイリスクの母体やハイリスク新生児の増加により、周産期母子医療センターのNICUは特に病床に近い状態(9割程度の稼働率)にある。

NICUの1日平均入院数(人)と3病院の合計平均患者数(人)



NICUへの出生体重別入院数(人)



周産期医療対策整備事業の概要

○周産期母子医療センター運営費助成事業(H30～)

周産期母子医療センターの安定した運営を図るため、国の補助制度を活用し、MFICU(母体・胎児集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児治療回復室)の各収支が赤字の場合、その赤字額に対して運営費を助成する。

- ・事業主体： 周産期母子医療センター 負担割合：国1/3、病院2/3
- ・補助対象： MFICU(母体・胎児集中治療室)、NICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児治療回復室)の各収支の赤字分

○周産期医療体制整備事業

- ・周産期医療体制の整備を図るため、周産期医療協議会を開催するとともに、県内2か所の総合周産期母子医療センターにおいて、周産期医療に従事する地域の医師、助産師、看護師等を対象に、周産期医療に必要な知識や技術の習得のための研修を行う。
- ・分娩取扱施設や妊産婦健診を実施する医療機関に対し、運営費や必要な機器の購入費等を助成する。

○NICU等退院後の在宅療養児向けのレスパイト病床の確保(H27～)

県内2か所の総合周産期母子医療センターにレスパイト病床を各病院で1床確保して、医療的ケアが必要な在宅療養患児を一時的に受け入れることにより、医療的ケア児の在宅療養を支援するもの。

病院の空床確保費、看護師確保費を補助する。

実績

令和4年	令和5年	令和6年
35件	71件	101件

① 施策の目的

地域でこどもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び地域の小児医療体制を確保する

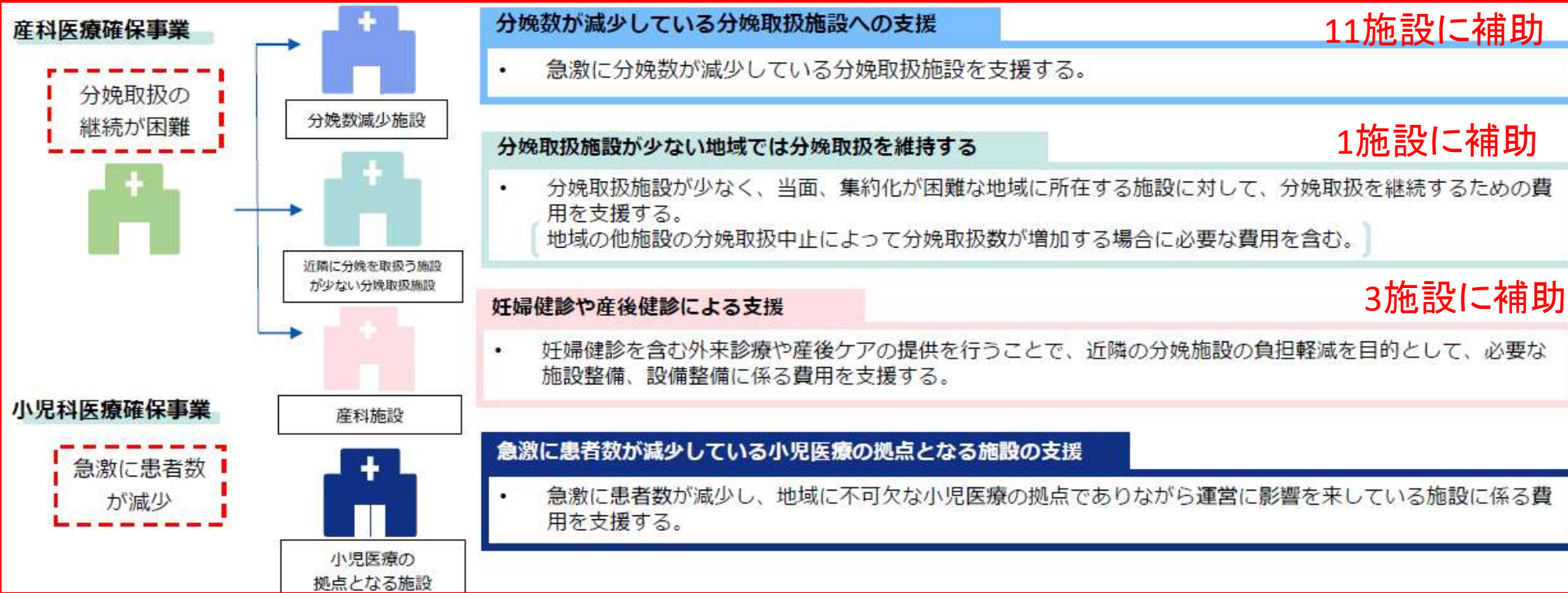
② 対策の柱との関係

I	II	III
○		○

③ 施策の概要

- 特に分娩取扱施設が少ない地域等における分娩取扱機能の維持のための取組を支援する
- 地域の小児医療の拠点となる施設について、急激な患者数の減少等を踏まえた支援を行う

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



⑤ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

出生数減少や少子化等の影響を受ける施設を支援することで、地域の周産期医療・小児医療の体制を確保する

施策名:カ 産科・小児科医療機関等に対する支援

① 施策の目的

出生数や患者数の減少が進行するなかでも、地域で子どもを安心して生み育てることができる周産期医療及び小児医療体制を確保する。

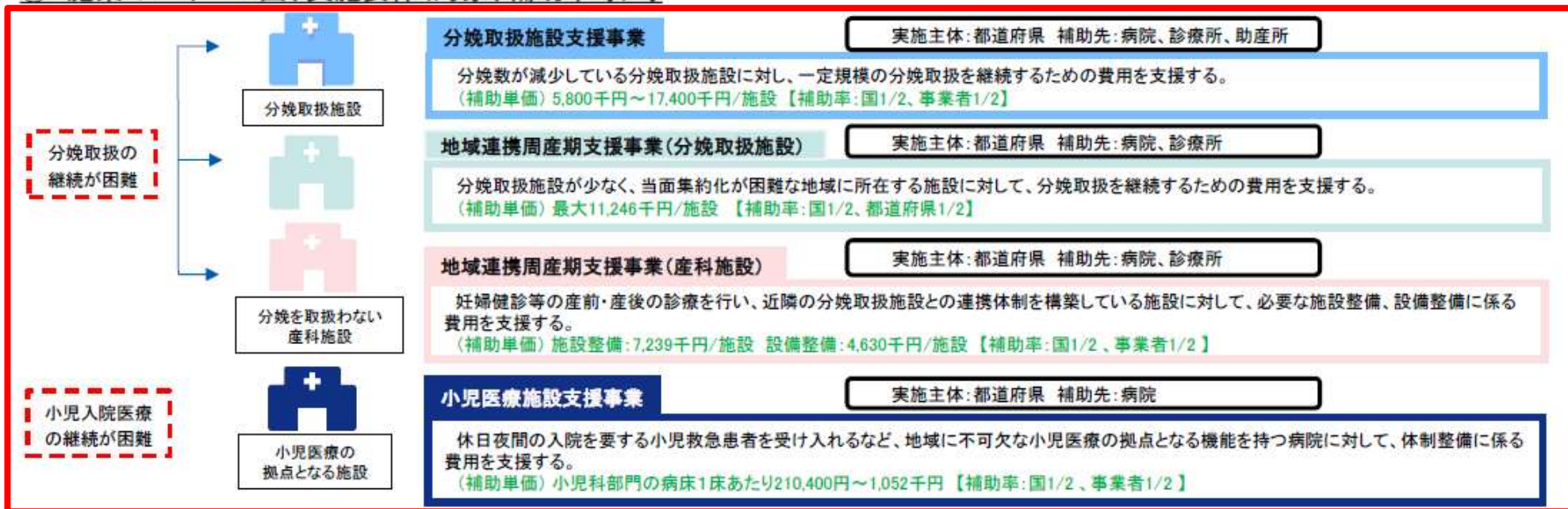
② 対策の柱との関係

I			II					III	
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
	○								

③ 施策の概要

- ・ 地域で安心安全に出産できる体制確保に向けた取組を支援する。
- ・ 地域で救急を含めた小児入院医療が実施できる体制確保に向けた取組を支援する。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



⑤ 施策の対象・成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

産科施設や小児科医療機関を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、施設の連携・集約化・重点化を含めた必要な支援を行い、地域で子どもを安心して生み育てることができる小児周産期医療体制の確保を図る。

令和8年度（令和7年度から繰越分）産科・小児科医療機関等支援事業について（子ども家庭課関係）

事業名（国）	分娩取扱施設支援事業	地域連携周産期支援事業（分娩取扱施設）	地域連携周産期支援事業（産科施設）
事業目的	分娩数が減少している分娩取扱施設に対して、一定規模の分娩取扱を継続するための支援を行い、出生数の減少が進行するなかでも地域で安心して子どもを産み育てることのできる周産期医療体制の確保を図る。	分娩施設が少なく当面集約化が困難な地域に所在する産科医療機関に対して、分娩取扱の継続に必要な経費の一部を支援することにより、地域の分娩取扱機能の維持を図る。	分娩は取り扱わないが、妊婦健診や産前・産後管理等を実施し、近隣の分娩取扱施設と連携体制を構築している産科医療機関に対して、診療を継続するための支援を実施することにより、近隣の分娩取扱施設の負担軽減とその他の産科施設との役割分担を進め、地域の実情に応じた周産期医療体制の構築を図る。
事業概要	要件を全て満たす分娩取扱施設の運営に係る経費の一部を補助する。	要件を全て満たす産科医療機関の運営に係る経費の一部を補助する。	要件を全て満たす産科医療機関における施設整備及び設備整備に係る経費の一部を補助する。
補助基準額	1施設あたり、 1,160,000円×分娩取扱件数現状率（%）※ ※（令和5年度の分娩取扱件数－令和6年度の分娩取扱件数）/令和5年度の分娩取扱件数×100（少数点以下は切り捨て、15%を上限とする。）	分娩取扱期間が 年間9月以上 11,246千円/か所 年間6月以上9月未満 7,500千円/か所 年間6月未満 3,700千円/か所	①施設整備費 7,239千円/施設 ②設備整備費 4,630千円/施設
補助率	1/2	1/2	1/2（事業者負担1/2）
負担割合（国・県）	国10/10	国1/2、県1/2	国1/2、事業者1/2
補助要件	次の要件を全て満たす分娩取扱施設 ア 令和7年4月1日から9月30日までの分娩取扱件数が25件以上であること イ 交付申請日時点において、分娩取扱を継続していること ウ 令和6年度における分娩取扱件数が、令和5年度における分娩取扱件数を5%以上下回っていること	次の要件を全て満たす産科医療機関 ①令和7年度において、分娩取扱実績があること ②令和7年度末において、分娩を取り扱う病院の数が1以下であり、かつ、分娩を取り扱う診療所の数が2以下である二次医療圏に所在すること ③令和7年度において、妊産婦の健康診査を実施していること ④各都道府県において策定した医療計画上の集約化・重点化計画との整合性が確保されていること ⑤今後の分娩取扱について都道府県や地域の他の分娩施設との連携の状況や今後の取組に関する計画を提出すること	次の要件を全て満たす産科医療機関 ①令和7年度において、原則各妊婦に対して妊娠初期から中期以降までの妊婦健康診査を実施し、必要に応じて産後管理を実施できる体制を確保していること ②令和7年度において、分娩を取り扱っていない又は同年度中に分娩取扱の中止が決定していること ③近隣の分娩取扱施設とオープンシステムまたはセミオープンシステムを構築していること ④各都道府県において策定した医療計画上の集約化・重点化計画との整合性が確保されていること

小豆島セミオープンシステムの導入

セミオープンシステム: 妊婦健診は自宅に近い健診施設で、分娩は高次医療施設で行うシステム

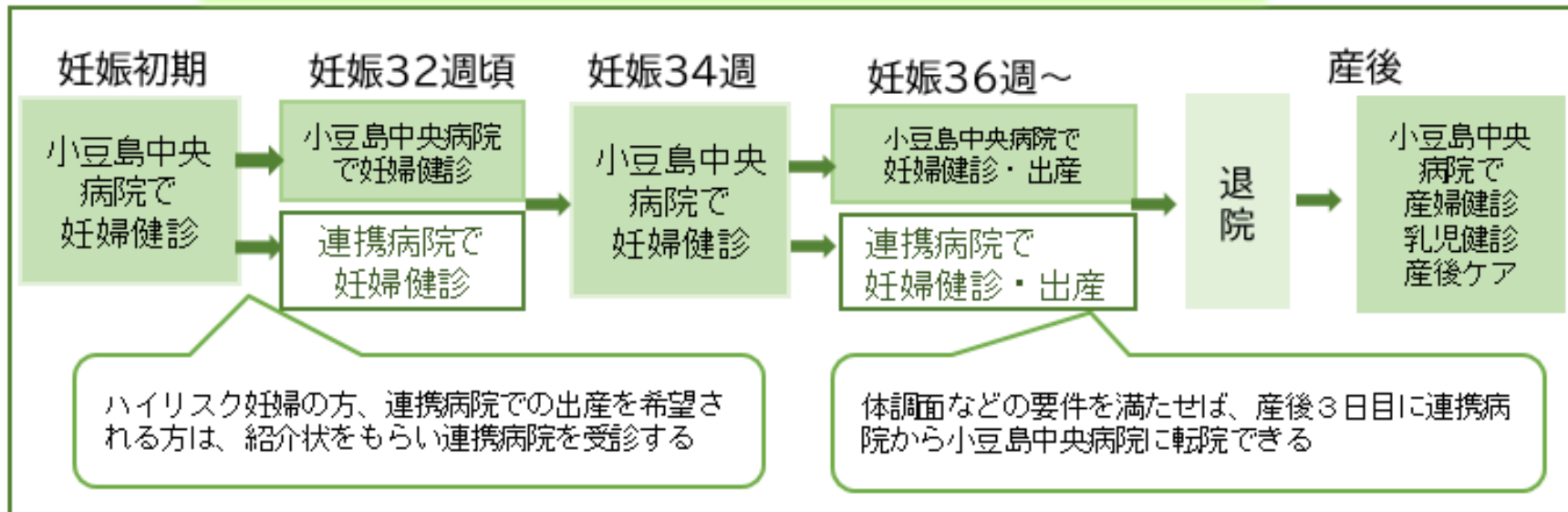
(1) セミオープンシステム 導入の背景

小豆島中央病院では、令和5年度末で常勤の産科医師が定年を迎えたことから、安全で安心な周産期医療を継続的に提供するため、妊婦健診は小豆島中央病院で、分娩は緊急時の体制が充実している連携病院(香川大学医学部附属病院、高松赤十字病院、県立中央病院)で行うセミオープンシステムを導入。

(2) セミオープンシステム導入に伴う事前滞在費等補助事業

小豆地域は離島であることから、島外の連携病院で出産する妊婦の経済的負担の軽減を図るため、土庄町、小豆島町では、令和6年度から、妊婦健診の交通費及び、出産前に島外に滞在する際の宿泊費用等の助成事業を開始した。県では、土庄町、小豆島町(2町)が助成する費用の一部を補助している。

うみまちサポート(小豆島セミオープンシステム)の流れ



★ 妊婦健診やハイリスク以外の出産は小豆島中央病院で、ハイリスク妊婦の方や連携病院で出産を希望される方は島外の連携病院で出産することができます。

小豆島セミオープンシステムの実績

令和6年度 小豆地域出産状況調べ

土庄町・小豆島町に住民票がある方に限る R7.4.1現在

令和6年度	出生数 (人)	小豆島中央病院 (件)	セミオープンシステム (件)			その他 (件)	
			合計	うち、香川大学	うち、日赤		うち、県立中央
土庄町	36	20	6	3	3	0	9
小豆島町	38	18	9	6	2	1	10

セミオープン利用者内訳: 事前滞在あり(宿泊費助成あり)8名、事前滞在なし(交通費助成のみ)7名)

令和7年度 小豆地域出産状況見込み

土庄町・小豆島町に住民票がある方に限る R8.2.12現在

令和7年度 (見込み)	出生数 (人)	小豆島中央病院 (件)	セミオープンシステム (件)			その他 (件)	
			合計	うち、香川大学	うち、日赤		うち、県立中央
土庄町	43	21	6	1	3	2	15
小豆島町	47	不明	5	2	1	2	不明

セミオープン利用者内訳: 事前滞在あり(宿泊費助成あり)5名、事前滞在なし(交通費助成のみ)6名)

「病院同士の連携がスムーズで、病院が変わっても安心して出産できた。」など、安心感があり、経済的にも助かったという声が多数あった。

利用者の声(一部)



一方で、「37週からの滞在では不安だったので36週から滞在した」「滞在中は一人なので陣痛が来た時に一人で動けるか不安だった」等、事前滞在に関して不安の声もあった。

周産期医療の稼働実績

①産科病棟入院状況(MFICUを含む)

(単位:人)

区分	年	医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均
一日平均患者数	H31 (R元)	四国こども	27.6	27.0	27.8	26.3	26.9	26.7	27.2	28.7	28.7	25.8	25.6	26.3	27.1
		香川大学	43.0	47.7	37.1	32.9	30.6	34.1	34.2	34.6	33.0	29.9	32.6	32.8	35.2
		高松赤十字	15.1	23.2	19.4	15.3	14.7	21.4	17.7	24.9	23.3	20.6	15.9	16.7	19.0
		計	85.7	97.9	84.3	74.5	72.2	82.2	79.1	88.2	85.0	76.3	74.1	75.8	81.3
	R2	四国こども	27.0	26.4	26.8	25.7	26.6	25.1	24.0	26.0	27.3	23.0	25.6	25.1	25.7
		香川大学	26.5	32.2	27.2	27.6	28.4	27.2	29.3	23.9	23.4	27.3	23.1	22.1	26.5
		高松赤十字	16.4	17.6	17.4	20.9	20.0	19.5	16.1	21.0	21.9	23.7	21.4	17.5	19.5
		計	69.9	76.2	71.4	74.2	75.0	71.8	69.4	70.9	72.6	74.0	70.1	64.7	71.7
	R3	四国こども	23.5	20.0	25.7	23.8	19.6	26.9	25.5	23.1	24.9	27.4	24.9	25.3	24.2
		香川大学	18.7	18.2	18.4	25.7	23.0	24.4	22.7	27.6	29.4	22.4	22.4	26.4	23.3
		高松赤十字	12.1	17.8	23.3	17.3	17.9	19.6	19.9	15.8	21.2	22.3	18.5	14.3	18.3
		計	54.3	56.0	67.4	66.8	60.5	70.9	68.1	66.5	75.5	72.1	65.8	66.0	65.8
	R4	四国こども	21.4	19.9	22.2	19.4	24.0	24.9	22.5	27.7	23.8	23.7	23.6	21.3	22.9
		香川大学	30.7	25.8	26.1	26.1	29.2	25.4	25.7	26.5	29.8	27.3	24.4	28.7	27.1
		高松赤十字	14.0	16.8	15.7	13.9	15.4	18.2	17.7	18.9	18.8	21.0	17.7	11.4	16.6
		計	66.0	62.5	64.0	59.4	68.6	68.5	65.9	73.1	72.4	72.0	65.7	61.4	66.6
	R5	四国こども	19.4	22.7	21.6	23.6	16.9	25.4	26.2	26.4	25.4	19.2	18.9	20.1	22.2
		香川大学	29.4	30.8	29.0	28.9	18.8	16.7	22.9	24.1	20.6	19.0	18.9	23.1	23.5
		高松赤十字	12.8	18.4	16.0	20.0	14.9	14.4	15.2	18.5	17.1	14.1	12.8	12.5	15.6
		計	61.6	71.9	66.6	72.5	50.6	56.5	64.3	69.0	63.1	52.3	50.6	55.7	61.2
	R6	四国こども	23.5	21.3	18.5	16.4	19.8	19.2	18.3	17.0	17.6	22.0	19.6	19.5	19.4
		香川大学	15.5	18.5	15.0	22.1	24.0	28.4	23.1	19.5	19.2	21.0	19.1	19.3	20.4
		高松赤十字	14.3	16.0	16.3	15.4	13.7	17.4	16.3	13.1	15.2	12.0	11.9	14.4	14.7
		計	53.2	55.8	49.7	53.9	57.5	65.1	57.6	49.5	52.0	55.0	50.6	53.2	54.4
	R7	四国こども	20.7	21.5	24.1	20.9	25.7	26.2	23.2	25.7	23.7	24.3	22.8	22.9	23.5
		香川大学	19.3	17.5	24.6	21.8	25.2	23.7	24.7	22.7	20.8	20.9	20.1	21.8	21.9
		高松赤十字	11.5	14.9	13.7	13.7	18.5	18.5	17.8	13.8	17.8	16.2	16.0	13.5	15.5
		計	51.5	53.9	62.4	56.4	69.4	68.4	65.7	62.2	62.3	61.4	59.0	58.2	60.9

※R7年の実績を入力してください。

②-1分娩及びハイリスクを要因とする主な手術の件数

(単位:件)

項目	年	医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
分娩件数	H31 (R元)	四国こども	75	61	76	61	66	63	64	72	70	60	57	68	793
		香川大学	60	59	52	59	45	48	57	67	73	59	68	84	731
		高松赤十字	42	55	44	39	43	41	40	53	55	51	64	54	581
		計	177	175	172	159	154	152	161	192	198	170	189	206	2,105
	R2	四国こども	62	57	67	58	71	57	50	69	75	60	62	65	753
		香川大学	61	57	47	60	54	54	63	53	56	57	43	47	652
		高松赤十字	52	45	59	52	48	61	61	69	75	68	69	62	721
		計	175	159	173	170	173	172	174	191	206	185	174	174	2,126
	R3	四国こども	58	43	65	57	45	64	62	68	60	73	61	62	718
		香川大学	33	41	49	62	53	57	45	60	62	50	42	52	606
		高松赤十字	58	42	77	56	68	56	63	55	75	71	59	62	742
		計	149	126	191	175	166	177	170	183	197	194	162	176	2,066
	R4	四国こども	60	54	57	35	64	63	52	85	72	64	65	61	732
		香川大学	60	52	50	39	43	43	49	52	59	46	59	53	605
		高松赤十字	56	55	59	47	53	51	47	69	57	61	55	55	665
		計	176	161	166	121	160	157	148	206	188	171	179	169	2,002
	R5	四国こども	55.0	66.0	58.0	67.0	43.0	62.0	75.0	66.0	72.0	51.0	54.0	57.0	726
		香川大学	61.0	52.0	51.0	67.0	49.0	53.0	59.0	50.0	44.0	43.0	49.0	60.0	638
		高松赤十字	49.0	54.0	45.0	64.0	47.0	44.0	56.0	58.0	50.0	51.0	46.0	33.0	597
		計	165	172	154	198	139	159	190	174	166	145	149	150	1,961
	R6	四国こども	57.0	58.0	59.0	41.0	49.0	63.0	63.0	59.0	41.0	59.0	60.0	64.0	673
		香川大学	44.0	49.0	44.0	48.0	49.0	56.0	60.0	55.0	44.0	62.0	58.0	42.0	611
		高松赤十字	52.0	47.0	45.0	46.0	50.0	54.0	53.0	42.0	52.0	50.0	47.0	54.0	592
		計	153	154	148	135	148	173	176	156	137	171	165	160	1,876
	R7	四国こども	48.0	52.0	54.0	42.0	67.0	69.0	56.0	67.0	73.0	69.0	65.0	69.0	731
		香川大学	57.0	34.0	67.0	56.0	65.0	64.0	70.0	71.0	55.0	69.0	51.0	68.0	727
		高松赤十字	51.0	44.0	50.0	45.0	55.0	56.0	72.0	47.0	56.0	53.0	58.0	46.0	633
		計	156	130	171	143	187	189	198	185	184	191	174	183	2,091

※R7年の実績を入力してください。

項目	年	医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
帝王切開 (緊急帝王切開を含む)	R2	四国こども	19	21	19	11	22	16	12	17	19	10	15	19	200	
		香川大学	17	15	12	16	11	17	22	9	13	21	9	16	178	
		高松赤十字	13	9	13	13	13	15	10	9	15	13	10	13	146	
		計	49	45	44	40	46	48	44	35	47	44	34	48	524	
	R3	四国こども	18	15	14	20	13	17	12	23	20	22	26	17	217	
		香川大学	4	13	13	17	19	18	13	13	15	13	11	14	163	
		高松赤十字	10	18	16	18	14	17	21	15	17	15	9	7	177	
		計	32	46	43	55	46	52	46	51	52	50	46	38	557	
	R4	四国こども	21	13	18	12	17	16	15	26	14	18	15	8	193	
		香川大学	15	17	20	13	14	17	17	21	23	13	24	19	213	
		高松赤十字	10	9	11	9	12	12	7	16	12	7	19	7	131	
		計	46	39	49	34	43	45	39	63	49	38	58	34	537	
	R5	四国こども	17	18	11	24	17	15	22	17	18	16	13	21	209	
		香川大学	22	13	21	20	16	16	12	17	21	15	15	22	210	
		高松赤十字	7	13	7	13	15	10	10	17	11	11	12	7	133	
		計	46	44	39	57	48	41	44	51	50	42	40	50	552	
	R6	四国こども	16	21	18	14	14	12	23	16	13	20	18	21	206	
		香川大学	10	15	14	12	16	19	18	17	11	21	18	12	183	
		高松赤十字	14	13	9	18	13	6	14	11	14	9	9	13	143	
		計	40	49	41	44	43	37	55	44	38	50	45	46	532	
	R7	四国こども	13	10	22	17	22	25	13	24	12	19	18	17	212	
		香川大学	17	7	17	9	20	13	18	11	10	16	14	21	173	
		高松赤十字	15	14	13	8	14	15	18	12	12	13	14	12	160	
		計	45	31	52	34	56	53	49	47	34	48	46	50	545	
	緊急 帝王切開	R2	四国こども	6	6	6	4	12	5	5	4	5	2	4	6	65
			香川大学	8	6	2	3	3	6	5	4	2	3	2	11	55
			高松赤十字	4	3	7	4	5	5	3	4	3	4	5	2	49
			計	18	15	15	11	20	16	13	12	10	9	11	19	169
R3		四国こども	5	10	7	11	7	6	3	8	8	11	13	3	92	
		香川大学	2	8	5	5	9	8	5	8	10	9	5	8	82	
		高松赤十字	5	8	7	12	5	6	4	5	4	5	3	1	65	
		計	12	26	19	28	21	20	12	21	22	25	21	12	239	
R4		四国こども	11	4	7	6	7	9	4	9	5	8	9	2	81	
		香川大学	8	9	6	7	6	10	6	14	12	9	10	11	108	
		高松赤十字	2	2	3	2	1	3	4	9	4	1	9	2	42	
		計	21	15	16	15	14	22	14	32	21	18	28	15	231	
R5		四国こども	6	11	6	11	11	5	8	8	5	11	6	11	99	
		香川大学	9	7	14	4	11	6	1	7	8	9	8	9	93	
		高松赤十字	1	3	0	6	6	2	4	3	4	2	3	3	37	
		計	16	21	20	21	28	13	13	18	17	22	17	23	229	
R6		四国こども	9	4	10	3	6	7	11	9	3	7	8	11	88	
		香川大学	4	5	6	5	11	6	6	8	4	6	12	6	79	
		高松赤十字	5	4	2	6	0	4	5	5	6	6	2	5	50	
		計	18	13	18	14	17	17	22	22	13	19	22	22	217	
R7		四国こども	8	5	8	7	15	13	5	9	4	5	4	6	89	
		香川大学	8	4	5	3	9	3	7	4	3	4	5	7	62	
		高松赤十字	5	3	5	6	10	3	4	6	5	6	5	6	64	
		計	21	12	18	16	34	19	16	19	12	15	14	19	215	
多胎分娩件 数		R2	四国こども	3	3	2	1	2	3	0	2	3	3	3	2	27
			香川大学	2	4	3	1	0	3	2	2	1	3	0	2	23
			高松赤十字	0	2	1	2	1	1	0	1	2	1	3	1	15
			計	5	9	6	4	3	7	2	5	6	7	6	5	65
	R3	四国こども	1	1	1	2	1	5	0	2	5	3	2	1	24	
		香川大学	0	1	1	2	5	3	0	0	1	5	0	2	20	
		高松赤十字	3	0	2	2	2	1	5	2	2	3	2	0	24	
		計	4	2	4	6	8	9	5	4	8	11	4	3	68	
	R4	四国こども	3	2	2	1	2	3	0	4	1	3	1	2	24	
		香川大学	4	2	1	3	2	3	0	1	1	0	4	2	23	
		高松赤十字	1	2	1	0	2	2	2	1	1	2	2	0	16	
		計	8	6	4	4	6	8	2	6	3	5	7	4	63	
	R5	四国こども	1	1	2	2	1	4	0	0	2	2	4	4	23	
		香川大学	1	2	2	5	2	1	0	3	1	5	2	3	27	
		高松赤十字	1	1	0	3	1	0	0	2	2	1	0	0	11	
		計	3	4	4	10	4	5	0	5	5	8	6	7	61	
	R6	四国こども	2	3	3	3	0	1	3	3	2	3	5	2	30	
		香川大学	1	1	0	4	2	2	2	3	0	2	2	1	20	
		高松赤十字	0	0	1	2	1	2	1	0	1	1	1	0	10	
		計	3	4	4	9	3	5	6	6	3	6	8	3	60	
	R7	四国こども	2	0	0	1	3	1	4	4	3	1	1	4	24	
		香川大学	1	0	4	2	3	2	0	2	4	3	2	2	25	
		高松赤十字	0	0	2	0	2	3	2	1	2	1	1	0	14	
		計	3	0	6	3	8	6	6	7	9	5	4	6	63	

※R7年の実績を入力してください。

③救急母体搬送件数

(単位:件)

項目	年	医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
搬送件数	H30	四国こども	7	8	7	5	6	8	4	8	2	7	4	5	71
		香川大学	6	3	5	6	5	12	4	1	10	3	7	4	66
		高松赤十字	2	2	0	1	0	3	0	2	3	1	2	0	16
		計	15	13	12	12	11	23	8	11	15	11	13	9	153
	H31 (R元)	四国こども	4	5	7	3	4	1	6	3	4	6	5	6	54
		香川大学	7	4	4	2	1	2	2	3	0	2	1	2	30
		高松赤十字	1	3	1	0	1	1	4	2	2	4	0	0	19
		計	12	12	12	5	6	4	12	8	6	12	6	8	103
	R2	四国こども	4	5	4	3	6	1	6	6	7	5	5	2	54
		香川大学	2	3	2	2	0	1	5	1	3	3	0	7	29
		高松赤十字	1	3	0	1	3	2	2	0	4	1	4	1	22
		計	7	11	6	6	9	4	13	7	14	9	9	10	105
	R3	四国こども	3	1	5	4	2	2	4	1	2	8	5	8	45
		香川大学	2	4	2	1	2	2	4	5	2	2	0	1	27
		高松赤十字	1	4	2	3	3	0	0	2	5	1	2	2	25
		計	6	9	9	8	7	4	8	8	9	11	7	11	97
	R4	四国こども	3	6	7	6	5	4	6	6	6	3	9	11	72
		香川大学	2	1	0	0	1	2	4	4	1	1	0	1	17
		高松赤十字	3	1	3	2	1	3	1	4	5	4	1	0	28
		計	8	8	10	8	7	9	11	14	12	8	10	12	117
	R5	四国こども	4	6	5	6	5	7	4	1	6	3	4	6	57
		香川大学	1	0	0	1	1	0	5	2	1	2	3	5	21
		高松赤十字	0	2	0	0	3	2	1	0	1	0	0	1	10
		計	5	8	5	7	9	9	10	3	8	5	7	12	88
	R6	四国こども	2	3	3	1	8	4	3	5	4	8	4	2	47
		香川大学	1	0	0	1	1	3	3	1	2	4	2	0	18
		高松赤十字	2	0	3	0	1	3	0	1	0	0	1	2	13
		計	5	3	6	2	10	10	6	7	6	12	7	4	78
R7	四国こども	7	5	4	3	7	8	7	5	3	5	2	3	59	
	香川大学	9	1	1	1	2	2	3	1	2	4	0	2	28	
	高松赤十字	1	1	2	4	5	2	1	1	1	0	0	3	21	
	計	17	7	7	8	14	12	11	7	6	9	2	8	108	

※R7年の実績を入力してください。

④NICUへの出生体重別入院数

(単位:人)

区分	医療機関名	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
～999g	四国こども	14	25	17	17	17	8	12	12	11	9	14	14	170
	香川大学	5	12	8	4	11	9	11	6	7	8	12	5	98
	高松赤十字	3	4	4	2	3	0	1	0	0	0	0	1	18
	計	22	41	29	23	31	17	24	18	18	17	26	20	286
1000～1499g	四国こども	20	32	26	19	26	18	18	24	13	17	13	22	248
	香川大学	17	11	16	13	13	17	11	12	10	7	10	7	144
	高松赤十字	7	3	6	1	4	0	5	0	0	0	0	3	29
	計	44	46	48	33	43	35	34	36	23	24	23	32	421
1500～2499g	四国こども	124	77	99	75	83	79	53	60	72	78	60	62	922
	香川大学	55	53	43	73	61	62	64	72	72	65	51	70	741
	高松赤十字	32	30	33	37	19	22	18	5	9	15	13	40	273
	計	211	160	175	185	163	163	135	137	153	158	124	172	1,936
2500g～	四国こども	158	84	91	73	63	94	81	73	92	73	89	89	1,060
	香川大学	48	25	23	68	54	77	39	51	55	56	68	68	632
	高松赤十字	7	13	19	33	14	22	32	14	46	30	50	35	315
	計	213	122	133	174	131	193	152	138	193	159	207	192	2,007
合計	四国こども	316	218	233	184	189	199	164	169	188	177	176	187	2,400
	香川大学	125	101	90	158	139	165	125	141	144	136	141	150	1,615
	高松赤十字	49	50	62	73	40	44	56	19	55	45	63	79	635
	計	490	369	385	415	368	408	345	329	387	358	380	416	4,650

※R7年の実績を入力してください。

⑤NICU入院児の死亡数

(単位:人)

区分	医療機関名	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
～999g	四国こども	0	2	1	2	2	0	0	0	2	0	0	1	10
	香川大学	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	7
	高松赤十字	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	計	1	4	2	2	2	1	1	1	2	1	2	1	20
1000～1499g	四国こども	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	7
	香川大学	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	高松赤十字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	1	2	0	1	1	1	0	2	1	10
1500～2499g	四国こども	0	1	1	4	0	1	0	1	3	1	1	1	14
	香川大学	0	1	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	7
	高松赤十字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	2	1	4	1	1	1	1	6	2	1	1	21
2500g～	四国こども	3	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	2	10
	香川大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	1	7
	高松赤十字	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	計	3	0	0	2	1	1	0	1	2	3	3	3	19
合計	四国こども	3	3	2	7	4	1	1	3	8	1	3	5	41
	香川大学	2	2	0	1	2	1	1	1	3	5	5	1	24
	高松赤十字	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5
	計	5	6	3	9	6	3	3	4	11	6	8	6	70

※R7年の実績を入力してください。

⑥NICUの1日平均入院数

年	医療機関名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	月平均
H31 (R元)	四国こども	11.8	11.3	11.1	11.5	11.4	12.0	11.6	11.9	11.6	10.1	11.8	11.9	11.5
	香川大学	6.8	8.7	7.8	8.4	6.2	6.3	8.2	7.1	8.1	8.5	7.0	8.3	7.6
	高松赤十字	1.2	0.2	0.9	1.5	2.5	1.8	0.4	2.1	0.8	2.4	2.8	1.9	1.5
	計	19.8	20.2	19.8	21.4	20.1	20.1	20.2	21.1	20.5	21.0	21.6	22.1	20.7
R2	四国こども	11.2	9.8	11.4	9.6	11.7	11.7	11.8	11.6	11.9	12.0	12.0	11.9	11.4
	香川大学	6.9	8.5	6.4	7.6	7.7	8.4	8.6	8.2	7.7	8.3	6.5	5.7	7.5
	高松赤十字	2.2	2.2	2.3	2.6	2.1	1.7	1.2	1.9	1.1	3.0	3.1	1.3	2.1
	計	20.3	20.5	20.1	19.8	21.5	21.8	21.6	21.7	20.7	23.3	21.6	18.9	21.0
R3	四国こども	11.8	12.0	11.8	11.9	11.3	11.5	10.0	11.8	11.0	11.9	11.5	10.6	11.4
	香川大学	6.6	6.8	7.5	5.9	7.4	7.2	6.2	7.4	8.3	8.8	7.7	8.8	7.4
	高松赤十字	2.9	3.1	2.0	3.3	3.2	2.7	3.0	1.9	3.2	3.3	3.1	2.4	2.8
	計	21.3	21.9	21.3	21.1	21.9	21.4	19.2	21.1	22.5	24.0	22.3	21.8	21.7
R4	四国こども	9.5	9.0	11.2	11.4	11.4	10.4	10.4	11.8	11.5	11.5	10.9	10.7	10.8
	香川大学	7.6	8.4	7.2	7.0	8.6	8.2	8.1	8.1	6.7	7.7	7.1	7.8	7.7
	高松赤十字	2.7	2.8	2.7	2.2	2.1	2.7	3.0	2.9	2.3	2.7	3.0	3.4	2.7
	計	19.8	20.2	21.1	20.6	22.1	21.3	21.5	22.8	20.5	21.9	21.0	21.9	21.2
R5	四国こども	8.5	10.8	11.4	11.3	11.8	11.8	11.8	10.4	9.6	9.3	11.1	11.7	10.8
	香川大学	7.5	4.8	8.3	8.0	8.0	8.1	8.1	6.7	6.6	8.6	7.4	8.9	7.6
	高松赤十字	3.2	3.1	1.1	2.4	3.0	3.0	2.5	2.9	2.8	1.0	2.8	3.2	2.6
	計	19.2	18.7	20.8	21.7	22.8	22.9	22.4	20.0	19.0	18.9	21.3	23.8	21.0
R6	四国こども	11.3	11.6	10.1	10.0	10.5	10.7	11.1	11.5	11.7	11.7	11.8	12.0	11.2
	香川大学	7.8	7.2	6.9	8.7	8.1	8.5	7.9	7.5	7.1	6.2	8.2	8.3	7.7
	高松赤十字	1.5	1.9	1.6	2.7	2.2	2.9	3.0	1.6	2.5	2.4	1.6	1.7	2.1
	計	20.6	20.7	18.6	21.4	20.8	22.1	22.0	20.6	21.3	20.3	21.6	22.0	21.0
R7	四国こども	11.8	11.8	12.0	11.9	11.8	11.9	11.7	12.0	11.0	11.6	11.0	8.4	11.4
	香川大学	9.0	8.6	8.7	9.0	8.4	9.0	8.9	8.6	7.8	8.0	7.5	6.6	8.3
	高松赤十字	2.4	2.6	2.7	2.9	2.3	2.6	2.7	3.0	2.2	3.0	2.1	2.6	2.6
	計	23.1	23.0	23.4	23.8	22.5	23.5	23.3	23.6	21.0	22.6	20.7	17.6	22.3

※R7年の実績を入力してください。

⑦人工呼吸管理数(人工呼吸器を装着した実数)

区分	医療機関名	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	年平均
管理数	四国こども	107	140	141	127	128	117	130	112	124	98	103	124	120.9
	香川大学	40	36	35	74	57	71	54	53	53	58	57	46	52.8
	計	147	176	176	201	185	188	184	165	177	156	160	170	173.8

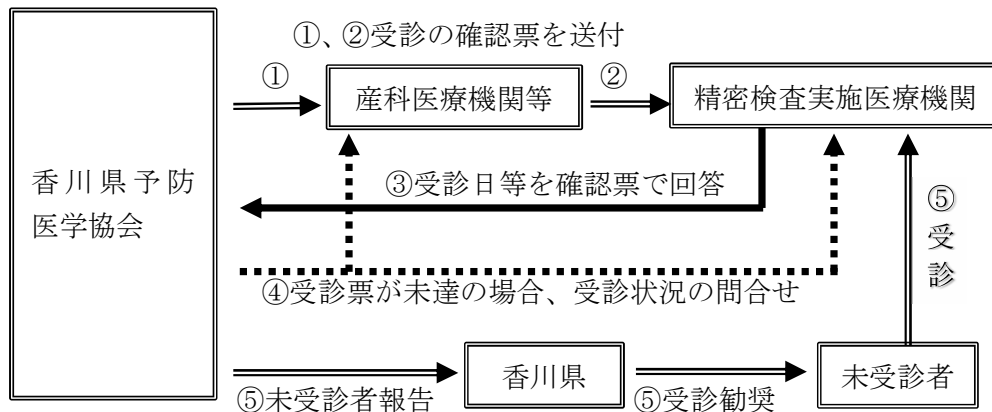
※R7年の実績を入力してください。

新生児マススクリーニング検査事業について

～精密検査の受診状況の確認や精密検査結果の把握について～

平成30年度より、次のとおり、要精密検査の受診確認と検査結果の把握を行っています。

要精密検査者の受診確認（フロー図）



- ① 予防医学協会は、検査を実施した産科病院等への検査結果送付時に、精密検査受診の確認票と返信用封筒を送る。
- ② 検査を実施した産科病院等は、予防医学協会から送付された確認票と返信用封筒を精密検査実施医療機関への紹介状に同封する。
- ③ 精密検査実施医療機関は、紹介状に同封された確認票に受診日時等を記入し、返信用封筒で予防医学協会に郵送する。
- ④ 予防医学協会は、確認票が2週間以内に返ってこない場合、検査を実施した産科病院等や、受診予定精密検査医療機関等に状況を確認する。
- ⑤ 予防医学協会は、未受診の場合直ちに県に報告し、県は受診勧奨を行う。

検査結果の把握

予防医学協会は、要精密検査者の正確な検査結果や症状等を把握するため、精密検査実施機関に対して、前年度に要精密検査となったすべての患児の状況等について、翌年9月に一括して照会する。

精密検査実施機関から回答された検査結果等は、専門医の指導のもと予防医学協会と県で集計、分析等の後、協議会にも報告等を行い、今後のスクリーニング検査の精度管理や患者の療養支援の向上に活用する。

令和6年度新生児マススクリーニング検査結果報告

連番	対象疾病	検査実人数	要精密検査者数	精密検査結果				備考
				確定診断	暫定的診断	経過観察中	正常	
1	フェニルケトン尿症	5323						
2	楓糖尿症							
3	ホモシスチン尿症							
4	ガラクトース血症		1			1		
5	先天性副腎過形成症		3			3		
6	クレチン症		12	5		2	4	1
7	メチルマロン酸血症							
8	プロピオン酸血症							
9	イソ吉草酸血症							
10	メチルクロトニルグリシン尿症							
11	HMG血症							
12	複合カルボキシラーゼ欠損症							
13	シトルリン血症1型							
14	アルギニコノコハク酸尿症							
15	グルタル酸血症1型		1					1
16	MCAD欠損症							
17	VLCAD欠損症							
18	TFP(LCHAD)欠損症							
19	CPT1欠損症							
20	CPT2欠損症							
合計			17	5	0	2	8	2

実証事業の実施体制

都道府県・指定都市



① 同意の取得等の依頼

② 指定

③ 指定

※複数の医療機関の指定や、域外の医療機関の指定も可能

分娩取扱医療機関等



① 分娩取扱医療機関等に対し、2疾患（SCID,SMA）の検査について、以下のアイを**保護者に説明し、同意の取得**をすることを依頼する。

ア 実施する**2疾患の検査の内容**

イ 検査結果（精密検査結果を含む）が**研究班に報告**されること

※ 原則として、現在の20疾患の検査を実施している全ての分娩取扱医療機関等で2疾患の検査を実施する

検体検査機関



② 2疾患（SCID,SMA）の**検査を実施**できる**検体検査機関を指定**する。

※ 現在の20疾患の検体検査機関で一括して検査を行う体制構築が望ましい。

※ 20疾患の検査と共通のろ紙を用いるなど、**20疾患と連動**して検査を実施する。

精査医療機関



③ 2疾患（SCID,SMA）の検査の陽性者への**精密検査等**を実施する**精密医療機関を指定**する。

※ 精密検査機関の選定に際しては、以下を考慮して決定すること。

- ① 2疾患の精密検査を実施できるとともに、精密検査の内容や結果について適切な説明を行う体制
- ② 陽性だった新生児の保護者などに対して**遺伝力カウンセリング**を実施できる体制
- ③ 陽性だった新生児に対して**遅滞なく治療**を実施できる体制（治療を実施できない場合、治療可能な医療機関を紹介できること）

- ※ 上記の体制構築について、地域の医療機関や検体検査機関、医師会等の関係団体等と協議し、連携を行うこと（新生児マススクリーニング連絡協議会等の場の活用も検討すること）
- ※ 検査の結果2疾患に関する異常又は疑いが認められた場合、分娩取扱医療機関等を通じて、保護者に精密医療機関の紹介等を行うとともに、保健所へ連絡する等事後指導に万全を期すこと
- ※ 保護者及び新生児が、里帰り出産や転居した場合であっても、検査結果を伝えられるような連絡体制をとり、異常等が認められた場合には、適切な医療機関の受診を促すこと

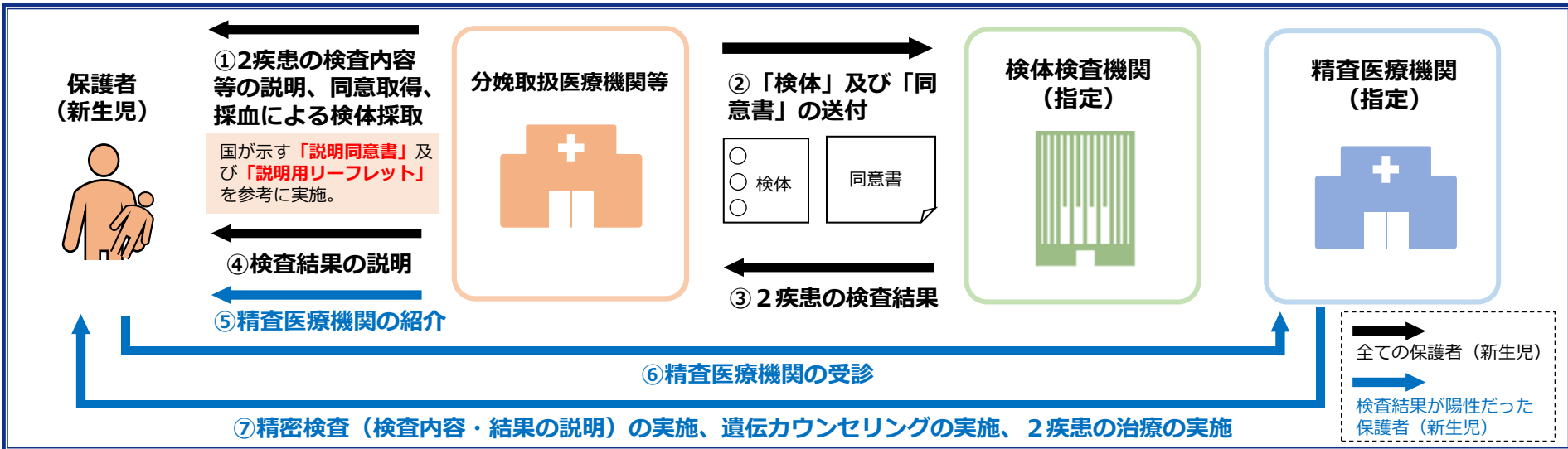


連携・協力（必要な検査データや情報の提供など）

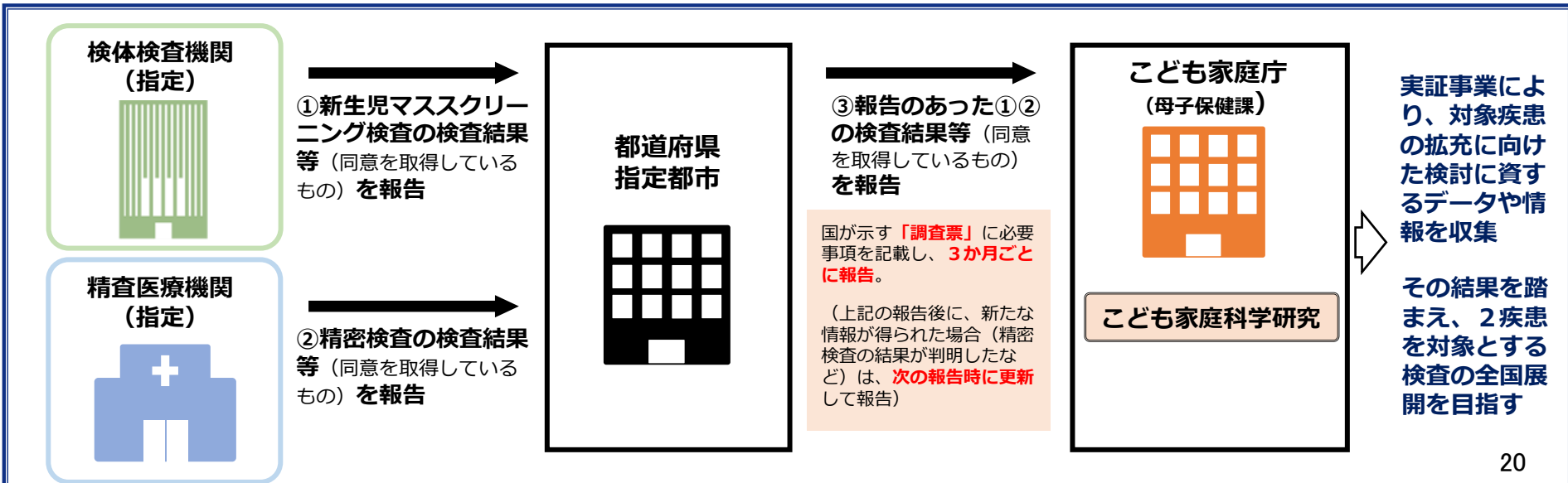
こども家庭科学研究

・対象疾患を追加する場合の検査・診療体制や遺伝カウンセリングにおける課題に関する対応策を得るための科学研究を実施

1 2疾患（SCID,SMA）の新生児マススクリーニング検査のモデル的な実施



2 2疾患（SCID,SMA）の検査結果等の報告



令和7年度香川県周産期医療協議会
議題（2） 拡大新生児スクリーニング検査について

香川県拡大新生児スクリーニング検査の 現状報告

香川大学医学部小児科
岩瀬孝志

治療（早期治療）が可能となった 小児期発症の遺伝性難病

ライソゾーム病：先天代謝異常症
(LSD) (先天性酵素欠損症)

ファブリー病
ポンペ病
ゴーシェ病
ムコ多糖症
ASMD
など

酵素補充療法
先天的に欠損した酵素を製剤として
体外から補充

副腎白質ジストロフィ (ALD)
造血幹細胞移植

アデノシンデアミナーゼ欠損症
(ADA欠損症)
酵素補充療法 (PEG-ADA)
造血幹細胞移植

重症複合免疫不全症：原発性免疫不全症
(SCID) (PID)

先天性免疫異常症
造血幹細胞移植



生ワクチン禁忌疾患の早期同定
2020年10月よりロタウイルス
ワクチンが定期接種化

脊髄性筋萎縮症：遺伝性神経筋疾患
(SMA)

核酸医薬品
mRNAを標的とした製剤
遺伝子導入治療
ウイルスを用いた遺伝子治療

早期発見するために
拡大した新生児スクリーニング検査が必要
eNBS：Expanded Newborn screening

新生児マススクリーニング検査（公費）

新生児マススクリーニング対象疾患 20疾患

現状

香川県拡大新生児スクリーニング検査事業体制 Expanded newborn screening in Kagawa

2023年6月～

拡大新生児スクリーニング検査対象疾患 7疾患

- ・ライソゾーム病（ポンペ病、ゴーシェ病、ファブリー病、ムコ多糖症Ⅰ型、Ⅱ型）
- ・重症複合型免疫不全症（severe combined immunodeficiency, SCID）
- ・脊髄性筋萎縮症（spinal muscular atrophy, SMA）

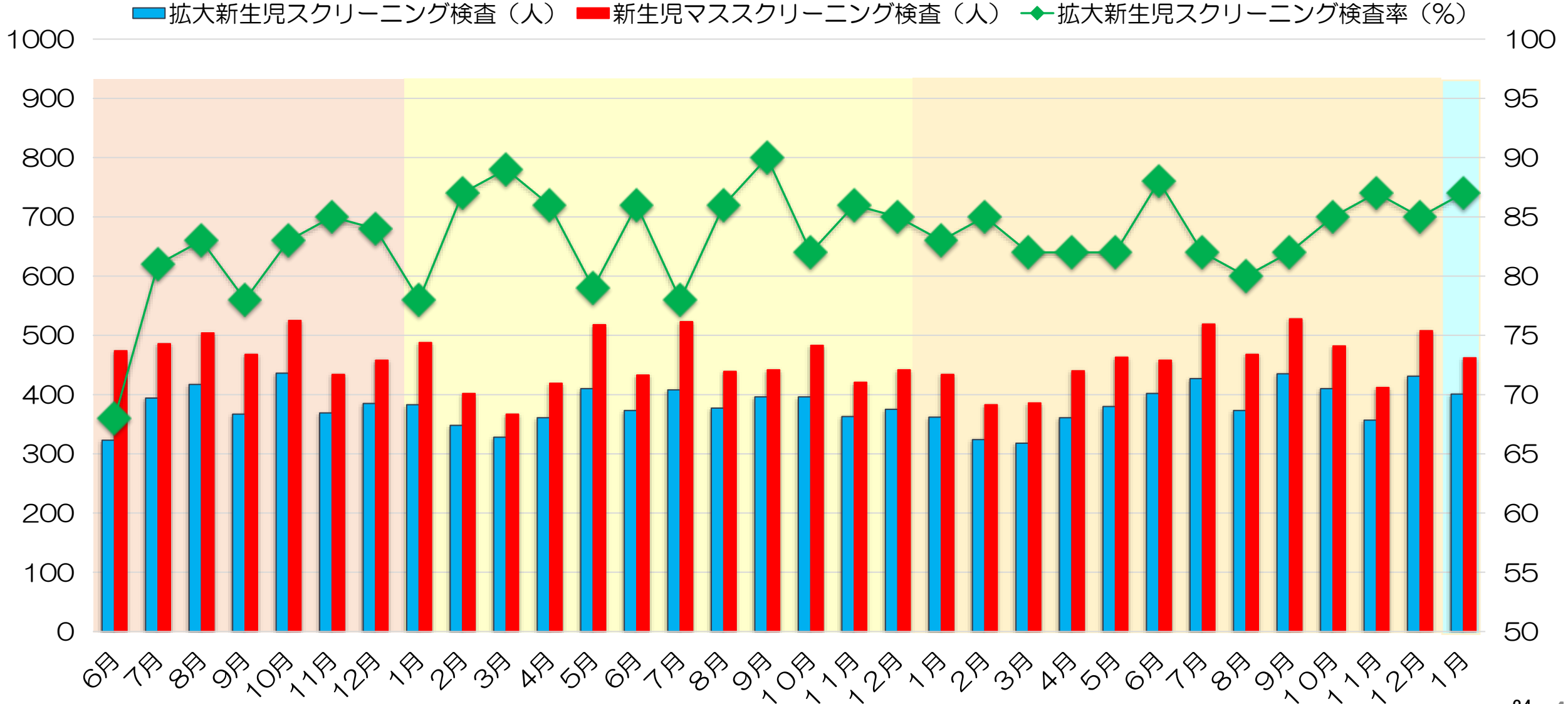
小児内分泌代謝
小児血液
小児神経
との連携が必要



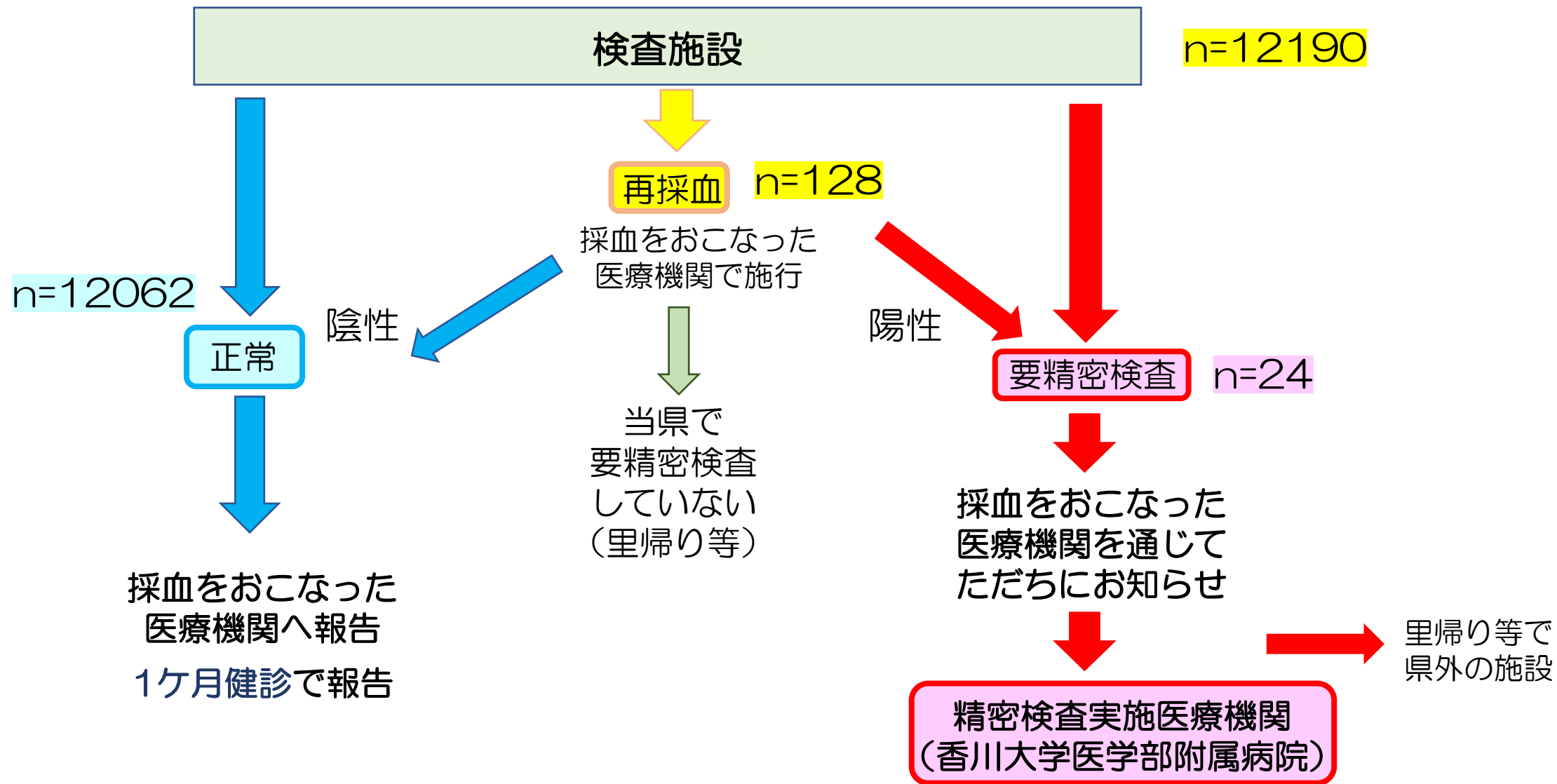
香川県拡大新生児スクリーニング検査 (2023年6月~2026年1月)

人

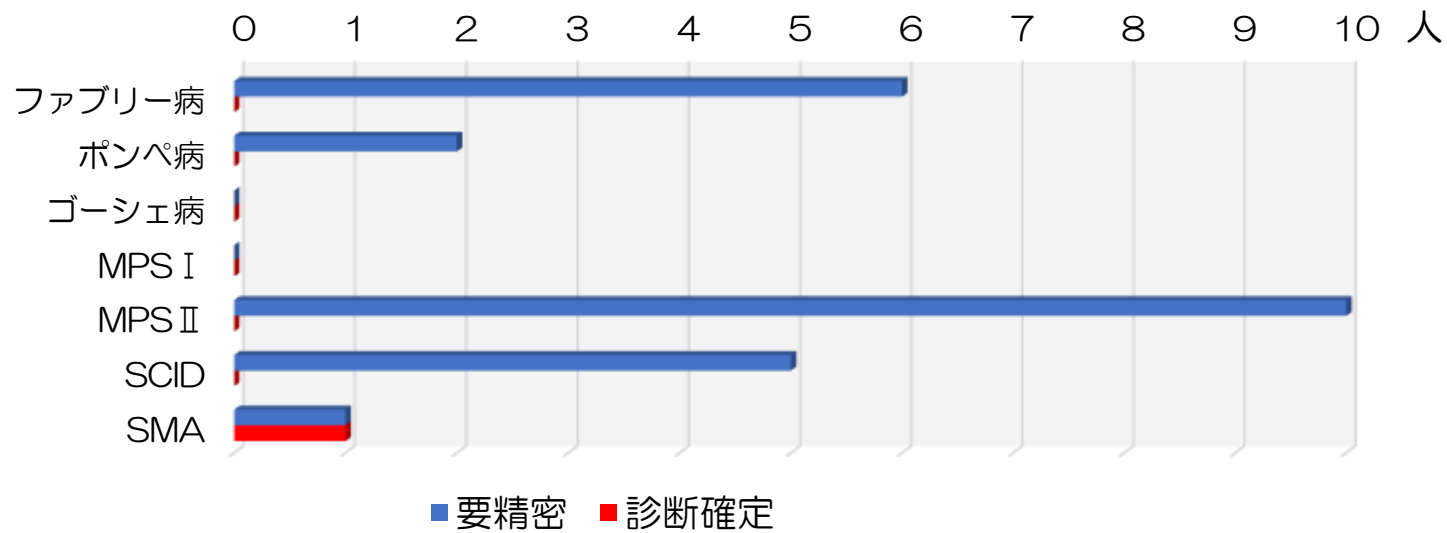
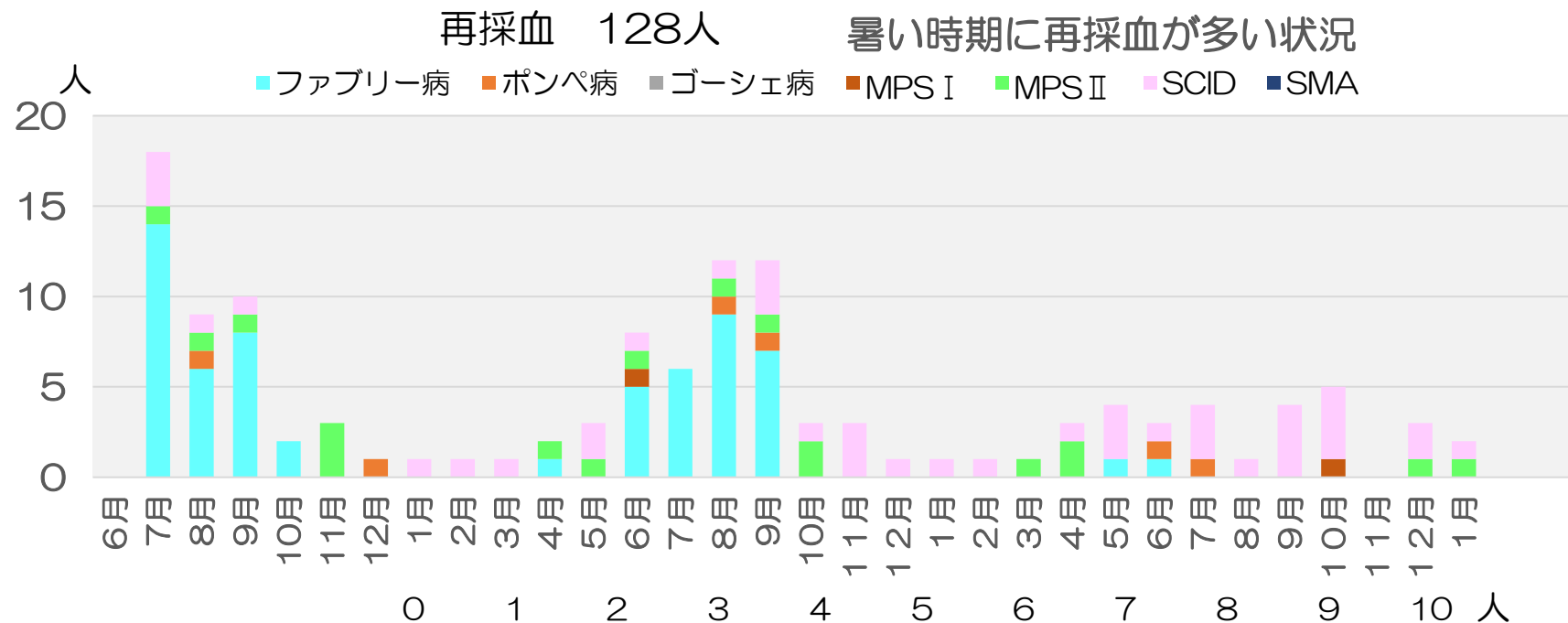
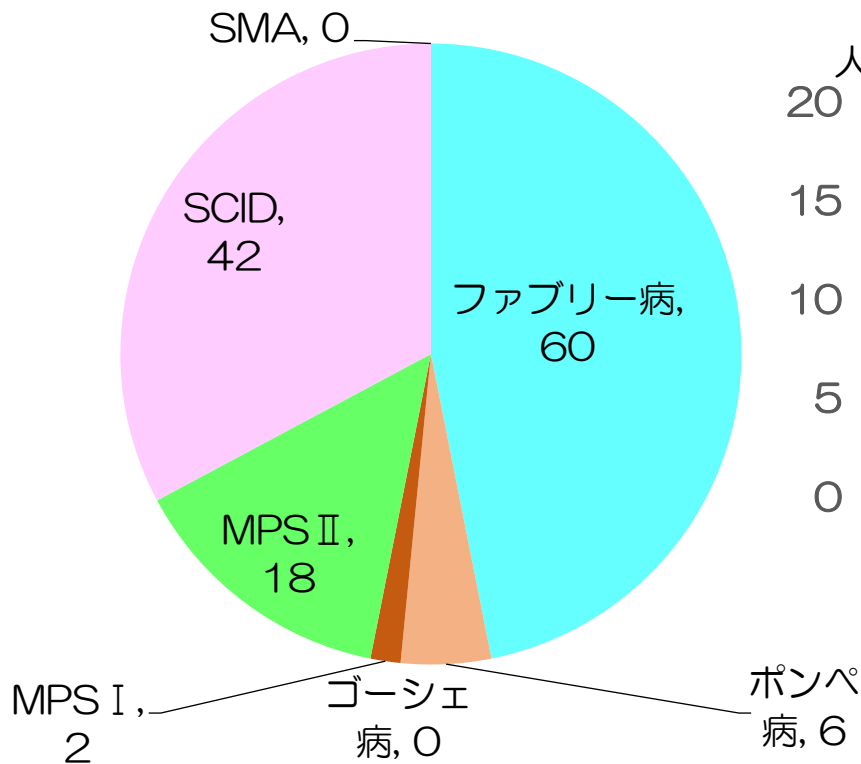
%



香川県拡大新生児スクリーニング検査
(2023年6月~2026年1月)



香川県 2023年6月～2026年1月



診断確定（治療が必要となる型を有する）の児は少ない

子どもを難病から守り、明るい未来へ

つなぐなごより®

kmb

発行: KMバイオロジクス株式会社
新生児スクリーニングセンター
〒860-0083 熊本市北区大塚1-7-35
TEL: 096-345-7847



KMバイオロジクス株式会社
新生児マススクリーニングサイト

協力: 一般社団法人 愛媛小児先進医療協議会
一般社団法人 高知小児先進医療協議会
一般社団法人 香川小児先進医療協議会
一般社団法人 徳島小児先進医療協議会

SHIKOKU

2025

VOL. 5

Winter

Topics 拡大検査の現状について

KMバイオロジクス株式会社新生児スクリーニングセンター(以下、弊社)では、現在、愛媛県、香川県、高知県、徳島県、熊本県、福岡県、佐賀県、大分県の拡大検査を受託しており、毎日200~300検体を受け付け、年間約6万検体を測定しています。本検査は、各地域の専門医の先生により設立された組織により運営されており、また、正しい検査が出来ていることを担保するため、当検査センターでは日本マススクリーニング学会による外部精度管理等を受けています。

今回、弊社で受託している地域の拡大検査の状況として、①重症複合免疫不全症(SCID)、脊髄性筋萎縮症(SMA)、②副腎白質ジストロフィー(ALD)、アデノシンデアミナーゼ欠損症(ADA欠損症)にフォーカスを当ててご報告します。

①SCID、SMAの現状

この2疾患はこども家庭庁の「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」の対象となっており、いずれも治療しなければ乳幼児期に亡くなる可能性がある重要な疾患です。弊社では、これまでSCIDで約20.4万人、SMAで約17.6万人を検査し、SCIDで9名、SMAで7名、計16名の患者が見つっています。特にSMAの疑い児が見つかった場合は、産科分娩施設、精密検査医療機関への連絡を行い受け入れに向けた調整を行っています。

	受検者数	要精密数	確定患者数
SCID	204,578人	78人	9人
SMA	176,545人	9人	7人

※四国、福岡、熊本県の合算で算出

②ALD、ADA欠損症の現状

ALDは神経細胞の変性に伴い脳や副腎に重大な障害を起こす恐れがあり、ADA欠損症は免疫不全により感染症の早期罹患や、重篤化する恐れのある病気です。

2025年10月の日本マススクリーニング学会の調査によるとALDでは22、ADA欠損症では10の地域で拡大検査として実施されており、国内で徐々に広がりつつある検査項目です。2025年10月に開催された「第52回日本マススクリーニング学会学術集会」ではALDがシンポジウムのテーマに挙げられるなど注目度も高まっています。

弊社では、実施主体の意向を踏まえ、2024年10月から熊本県、2025年7月から福岡県でパイロット検査を担当しており、現在ALDで2名、ADA欠損症で1名の患者が見つっています。

	受検者数	要精密数	確定患者数
ALD	9,335人	4人	2人
ADA欠損症	17,988人	1人	1人

※福岡県、熊本県の合算で算出

SCID、SMAは実証事業の結果を踏まえ全国展開(公費検査化)が期待されており、ALD、ADA欠損症は次なる拡大検査項目として注目されています。

弊社では、これらの検査を確実に行っていくことで、これまで以上に四国のお子さんの健康に尽くしてまいります。

拡大新生児スクリーニング検査に
ALD、ADA欠損症を導入している自治体

ALD、ADA欠損症

- ALD、ADA欠損症の検査を実施
令和7年度 11県
- ALD検査のみを実施
令和7年度 10県
- ALD、ADA欠損症の
検査の実施なし 26都道府県



https://www.primo.dodge.com/jp/4d4g/04p0-map-availability-by-prefecture

新生児マススクリーニング検査（公費）

新生児マススクリーニング対象疾患 20疾患

国実証事業に参加する場合

香川県拡大新生児スクリーニング検査事業体制 Expanded newborn screening in Kagawa

拡大新生児スクリーニング検査対象疾患 9疾患

- ・ライソゾーム病（ポンペ病、ゴーシェ病、ファブリー病、ムコ多糖症Ⅰ型、Ⅱ型）
- ・重症複合型免疫不全症（severe combined immunodeficiency, SCID）
- ・脊髄性筋萎縮症（spinal muscular atrophy, SMA）
- ・ALD
- ・ADA欠損症

小児内分泌代謝
小児血液
小児神経
との連携が必要



結語

- 令和8（2026）年1月時点での香川県拡大新生児スクリーニング検査の現状を確認しました。
- 県内分娩施設のご協力により、香川県においても2023年6月から拡大新生児スクリーニング検査を開始できています。2年半経過し、再採血は、各分娩施設で対応していただき、要精密を香川大学で対応し県外専門医療機関と連携をとり診断精査を行っています。
- 夏は温度、湿度により、再採血が多かったですが、アルミ袋を活用することで減っています。再採血要精密検査対象例のFabry病やMPSⅡにおいては偽欠損例を認めています。遺伝子型により慎重なフォローと治療の検討が必要となっています。
- ALD、ADA欠損症も検査導入許可が得られれば、香川県でも導入を予定しています。